

簡易公募型プロポーザル方式（拡大）に係る手続開始の公示
(建築のためのサービスその他の技術的サービス（建設工事を除く）)

次のとおり企画提案書の提出を招請します。

平成21年11月25日

支出負担行為担当官

中部地方整備局長 富田 英治

1. 業務概要

1) 業務名 平成21年度 損失補償算定標準書調査・作成業務（電子入札対象案件）

2) 業務内容

本業務は、公共用地の取得に伴う損失補償金を算定する際に必要な「損失補償算定標準書」を作成するものである。

3) 履行期間 契約締結日の翌日から平成22年3月31日まで

4) 入札方式等

本手続きは、参加表明書及び企画提案書を同時に提出するものである。

本業務は資料提出、見積書提出を電子入札システムで行う対象業務である。

電子入札システムで利用できるＩＣカードは、代表者又は入札・見積権限及び契約締結権限について年間委任状により委任を受けた者のＩＣカードのみである。

なお、電子入札システムによりがたい者は、発注者の承諾を得た場合に限り紙入札方式に変えることができる。

2. 企画提案書の提出者として選定されるために必要な要件

企画提案書の提出者は、以下に示す満たす全ての者を選定する。

なお、企画提案書の提出者として選定した者には、選定通知書を電子入札システムにより通知する。ただし、紙入札方式による参加者については書面により通知する。

選定通知の日は平成21年12月11日を予定する。

1) 基本的要件

参加表明書を提出する者（以下、「参加表明者」という。）は、次の①に掲げる資格を満たしていること。

①単体企業

(1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

(2) 中部地方整備局（港湾空港関係を除く。）における補償関係コンサルタント

業務に係る平成21・22年度の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること。

(3) 中部地方整備局長から建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。

(4) 入札に参加しようとする者の間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。なお、上記の関係がある場合に、辞退する者を決めることを目的に当事者間で連絡を取ることは、競争契約入札心得第4条の3第2項の規定に抵触するものではないことに留意すること。

a) 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社又は子会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。

ア. 親会社と子会社の関係にある場合

イ. 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

b) 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、イ. については、会社の一方が更生会社又は再生手続が存続中の会社である場合は除く。

ア. 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合

イ. 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合

c) その他入札の適正さが阻害されると認められる場合

その他上記a) 又はb) と同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる場合。

※(2)に掲げる一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていないものも参加表明書及び企画提案書を提出することができるが、その者が企画提案書の提出者として選定されるためには、企画提案書の提出者を選定しする時まで、当該資格の認定を受けていなければならない。なお、選定通知の日は平成21年12月11日を予定する。

2) 業務実施体制に関する要件

参加表明書に示される業務実施体制に関し、次の事項に該当しないこと。

①再委託の内容が、主たる部分の場合。

②業務の分担構成が、不明確又は不自然な場合。

③補償コンサルタント登録規程（（昭和59年9月21日建設省告示第1341号）（以下「登録規程」という。））第2条第1項の別表に掲げる物件部門に係る補償業務管理者又は社団法人日本補償コンサルタント協会が定める補償業務管理士研修及び検定試験実施規定（（平成3年3月28日理事会決定）（以下「実施規定」という。））第3条に掲げる物件部門において実施規程第14条に基づく補償業務管理士登録台帳に登録された補償業務管理士を有していない場合。

3) 参加表明者の業務実績等に関する要件

参加表明書を提出する者は、平成14年度以降に完了した以下に示す同種業務にお

いて、1件以上の実績を有していること。ただし、業務の実績のうち地方整備局委託業務等成績評定要領に基づく業務成績が60点未満の業務は実績として認めない。

同種業務：登録規程に掲げる登録部門のうち、物件部門（建物算定20棟以上）の業務実績がある。

4) 配置予定管理技術者の資格に関する要件

配置予定主任担当者については以下に掲げる資格等のいずれかを有すること。

なお、参加表明者の提出期限までに当該登録を受けていない場合にも参加表明書を提出することができるが、この場合、参加表明書提出時に登録規程に基づく当該登録部門に係る登録申請書の写し又は登録追加申請書の写し、若しくは実施規程第20条に基づく当該登録部門に係る研修及び検定試験の免除申請の写しを提出するものとし、当該業者が選定を受けるためには選定通知の日までにいずれかの登録を受け、登録証の写しを提出しなければならない。

- ・ 登録規程第2条第1項の別表に掲げる物件部門に係る補償業務管理者。
- ・ 社団法人日本補償コンサルタント協会が定める実施規程第3条に掲げる物件部門において実施規程第14条に基づく補償業務管理士登録台帳に登録された補償業務管理士。

5) 配置予定管理技術者の業務実績に関する要件

配置予定主任担当者は、平成14年度以降に完了した以下に示す同種業務において1件以上の実績を有さなければならない。ただし、業務の実績のうち地方整備局委託業務等成績評定要領に基づく業務成績が60点未満の場合は実績として認めない。

業務実績は、受発注者の立場で行った請負業務の実績の他、関連する調査、計画、研究、企画、設計、分析、評価、著述等の具体的な業務を同種業務として認める。

同種業務：登録規程に掲げる登録部門のうち、物件部門（建物算定20棟以上）の業務実績がある。

6) 手持ち業務量に関する要件

- ① 本業務の公示日現在、全ての手持ち業務の契約金額合計が4億円未満かつ手持ち業務の件数が10件未満である者であること。

ただし、本業務の公示日現在での手持ち業務のうち、国土交通省の所管に係る建設コンサルタント業務等において調査基準価格を下回る金額で落札した業務がある場合には、全ての手持ち業務の契約金額合計が2億円未満かつ手持ち業務の件数が5件未満である者でなければならない。

なお、手持ち業務とは主任担当者、照査技術者、担当技術者として従事してい

る契約金額が500万円以上の業務をいう。

- ② 本業務の履行期間中は配置主任担当者の手持ち業務量が①に示す金額及び件数を超えないこととし、超えた場合には、遅滞なくその旨を報告しなければならない。その上で、業務の履行を継続することが著しく不相当と認められる場合には、当該配置主任担当者を、以下の(1)から(4)までのすべての要件を満たす技術者に交代させる等の措置請求を行う場合があるほか、業務の履行を継続する場合であっても、本業務の業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

- (1) 当該配置主任担当者と同等の同種業務実績を有する者
- (2) 当該配置主任担当者と同等の技術者資格を有する者
- (3) 当該配置主任担当者と同等以上の業務成績平均点を有する者又は過去5年間の同種業務における業務成績が75点以上である者
- (4) 手持ち業務量が当該業務の入札説明書又は仕様書において設定している配置予定主任担当者の手持ち業務量の制限を超えない者

7) 企画提案書に関する要件

参加表明書は、次の事項について企画提案書を提出すること。

- ①実施方針
- ②業務実施体制
- ③特定テーマ

本業務において技術提案を求める特定テーマは、以下に示す事項である。

- ①市場価格の調査を迅速かつ的確に実施するうえでの留意点
- ②市場価格の調査結果から補償単価の作成に必要な市場単価を確定するうえでの留意点

3. ヒアリング

ヒアリングは、基本事項の確認のみとし、企画提案審査後に実施するものとし、原則として企画提案の評価において満点の60%以上の評価値を得た者を対象に実施するものとする。

- (1)実施場所：中部地方整備局 用地部 会議室
- (2)実施日時：平成21年12月21日 ～ 平成21年12月22日
- (3)ヒアリングの日時は協議の上、決定する。
- (4)ヒアリングの時間、留意事項等は別途通知する。
- (5)ヒアリングは配置予定主任担当者に対して行うものとし、配置予定主任担当者以外の出席は認めない。

4. 企画提案書を特定するための評価基準

- 1) 企画提案書の記載内容及びヒアリングでの聞き取り内容において、次の項目に該当し、業務が適切に履行できないと判断される場合は特定しない。

- (1) 企画提案書の非特定事項

- ・ 内容が殆ど記載されておらず、提案内容が判断できない
 - ・ 業務目的に反する記述や事実誤認等適切な業務執行が妨げられる内容となっている
 - ・ 実施方針と特定テーマの技術提案に矛盾等があり、整合性が図られていない
- (2) ヒアリングの非特定事項
- ・ 技術者自身の業務実績について説明できない等自ら主体的に携わったことが認められない
 - ・ 本業務の目的、内容又は企画提案の内容を理解していない
 - ・ 質問に対する回答が全くない、若しくは回答が著しく不適切

2) 評価項目

(1) 基本事項（参加表明者）

業務実績

(2) 基本事項（技術者）

業務実績

地域精通度

(3) 企画提案書

実施方針、業務実施体制、特定テーマ

(4) ヒアリング

業務実績及び専門技術力、取り組み姿勢及び技術対話力

5. 手続等

1) 担当部局

〒460-8514 愛知県名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館
国土交通省 中部地方整備局

①総務部 契約課：契約手続きに関すること。

TEL 052-953-8138 FAX 052-953-8199

メールアドレス：keiyaku@cbr.mlit.go.jp

②用地部 用地企画課 調整係：企画提案書等に関すること。

TEL 052-953-8105 FAX 052-953-9103

メールアドレス：youchibu@tcp-ip.or.jp

2) 説明書の交付期間、場所及び方法

平成21年11月25日から平成21年12月9日までの期間、「電子入札システム」又は国土交通省中部地方整備局ホームページ（以下「HP」という。）に掲載した説明書をダウンロードすることにより交付する。

HPアドレス：<http://www.cbr.mlit.go.jp>

「企業と自治体」－「入札・契約情報」－「測量・建設コンサルタント等業務」－「入札公告、揭示文、入札説明書、技術資料作成要領」の順で検索のこと。

なお、企画提案書作成についての参考資料や見積りに必要な仕様書等は、「電子入札システム」により交付する。ただし、やむを得ない事情で「電子入札システム」

による交付を受けることができない場合は、5. 1) ①の担当部局まで連絡し指示に従うこと。

3) 参加表明書及び企画提案書の提出期間並びに提出先及び方法

電子入札システムにより提出すること。

ただし、紙入札方式による提出の場合は、1部を持参若しくは郵送（書留郵便に限る。）すること。電送又は電子メールは受け付けない。

提出期間：平成21年11月26日から平成21年12月10日までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、10時00分から16時00分まで（紙入札方式による提出の場合も同じ。）。

提出方法：電子入札システムにより提出すること。ただし、参加表明書の容量が3MBを超える場合には、郵送（書留郵便に限る。）又は電送で提出すること。郵送又は電送で提出する場合には、必要書類の一式を郵送又は電送で送付するものとし、電子入札システムとの分割は認めない。また、郵送又は電送にて提出する場合は、下記の内容を記載した書面を電子入札システムにより参加表明書として送信すること。

（ア）郵送又は電送する旨の表示

（イ）郵送又は電送する書類の目録

（ウ）郵送又は電送する書類のページ数

（エ）発送年月日

提出先：5. 1) ①と同じ。

ファイル形式：電子入札システムによる参加表明書のファイルの形式については、以下のいずれかの形式にて作成することとする。

・一太郎 2007 以下

・Microsoft Word2002 以下

・Microsoft Excel2002 以下

・その他アプリケーション PDFファイル Acrobat6.0 以下

画像ファイル JPEG及びGIF形式

圧縮ファイル LZH形式

留意点：複数の申請書類は、すべてを1つのファイルにまとめ、契約書等印があるものや図面等については、スキャナ等で読み込み本文に貼付けること。

参加表明書と企画提案書を併せて参加表明書として提出すること。

6. その他

1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

2) 契約保証金 免除

3) 契約書の作成の要否 要

4) 当該業務に直接関連する他の設計業務の委託契約を当該業務の委託契約の相手方と

の随意契約により締結する予定の有無 無

- 5) 関連情報を入手する為の照会窓口 5. 1) に同じ。
- 6) 参加表明書提出期限から見積合わせの日までの間に中部地方整備局長から建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けた場合は、非特定又は特定の取消の手続きを行うこととする。なお、見積合せの日は平成22年1月28日を予定している。
- 7) 本案件は資料提出、見積書提出を電子入札で行うものであり、対応についての詳細については、説明書による。